



立川だより

東京都立立川学園
校長 市川 裕二
東京都立川市栄町 1-15-7
電話 042-523-1358

1学期の終わりにあたって

校長 市川 裕二

令和8年度の1学期も、4月の始業式から始まり、本日の終業式で終わりになります。この間の本校の教育活動への御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

1学期は、学校全体では、入学式や、全校朝会など、様々な行事も予定通り実施でき、また、日頃の学習も滞りなく進んでおります。幸い、大きな事故等が無かったことは良かったと思います。

一方、施設の老朽化によるクーラーの故障がありました。すぐに修理できる状況ではなかったため、他の特別支援学校からスポットクーラーを借り、対応しましたが、昨年度のように猛暑になるとスポットクーラーだけでは対応できなくなりますので、教室を変更してしっかり冷房の利く教室で学習できるようにしました。このことは、東京都教育委員会にも申請中で、なるべく早期の解決が図れるようお願いをしているところです。

今年は、雨が多い気候になりました。そのため比較的過ごしやすい6月・7月となりました。このためプールに入水できることが少し増えたのではないかと思います。やや寒いと思う中、子供たちは、元気にプールで活動することができました。また、運動会や体育発表会を予定通り実施することができました。多くの保護者の方に御参加いただき、改めて感謝申し上げます。

1学期が終わるにあたり、各部門、各学部とも名称は異なりますが、1学期の学習のまとめをお渡しすることになります。まとめには、1学期の幼児・児童・生徒が頑張ったことが記載されています。ぜひ、御家庭でも一緒に読むなどして、頑張りをほめていただけると幸いです。

これから、夏季休業が始まります。梅雨が明けると、危険な猛暑が始まるかもしれません。御家庭でも、屋外での活動を控える、活動時間を短くする、日陰で活動する、休息を十分とる、水分補給をするなどの熱中症への対策をしていただけると幸いです。

学期末にあたり、全教職員に向け、改めて「子供の人権を尊重した指導」「子供の気持ちを尊重した指導」について、指導・周知し、2学期の指導が充実していくよう図っていきます。2学期は、9月1日（火）から始まります。

「本を読もう！楽しもう！」

立川学園では、全校幼児・児童・生徒が発達段階に応じて図書に親しみ、読書を楽しむことができるよう様々な取り組みを行っています。今回は、「全校読書旬間について」「図書コラボ給食について」「図書館専門員の配置について」御紹介します。



★全校読書旬間について★

読書旬間では、1) 読書活動を通して、豊かな心をはぐくみ、言葉を育てる、2) 幼児・児童・生徒の言語活動の充実を図るとともに、読書習慣の形成を促し、読書活動の充実を図る、3) 地域の図書館と連携を図り、日常生活に生かせる余暇活動を推進するなどをねらいとし10日間を設定しています。

6月29日（月）から7月10日（金）まで、第1回読書旬間となりました。国語の時間や朝の学級活動、昼休みなどに教員の読み聞かせや読書を行い充実した読書旬間となりました。第2回目は、12月を予定しています。

これからも「本を読もう！楽しもう！」をキャッチフレーズに、子供たちが新しい本と出会い、本と触れ合う時間を充実させていきます。御家庭でも「今日はどんな本を読んだの？」とお子様に言葉をかけたり、絵本や図書について話題にしたりして、読書時間を楽しんでいただけたらと思います。

★図書コラボ給食・図書コラボ給食コンテストについて★

7月6日（月）「元気になるサラダ」が給食メニューとして出されました。「サラダでげんき」福音館書店：長新太絵の図書コラボ給食です。8日（水）「給食アンサンブル」光村図書：如月かずさ作「七タゼリー」も好評でした。



七タゼリー

図書コラボ給食コンテストでは、児童・生徒が好きな本を紹介して、給食のメニューにしています。9月1日（火）始業式にて入賞者の発表を行う予定です。2学期以降、栄養士さんと連携し、入賞図書のコラボ給食を実施していきます。

人気のイベントとなり、本を読むきっかけになっています。

★図書館専門員の配置について★

4月から図書館専門員が立川学園に配属されました。図書室はいつでも司書がいて、ドアが開いています。子供たちは、いつでも気軽に図書室を利用しています。

また、休み時間などタッチ部門とやえ部門の児童・生徒たちが同じ時間に図書室を利用する様子も見られるようになりました。

読書旬間の10日間では延べ250人の来室がありました。子供たちの様々なニーズに対応できる図書環境をつくり、読書の機会を引き続きたくさん用意していきます。



図書室来室でシールを1枚貼り大花火の共同制作↑

乳幼児教育相談とは

乳幼児教育相談では、0歳から小学校入学前までのきこえない・きこえにくいお子さんとその保護者の方を対象の相談支援を行っています。グループ活動や個別相談で、お子さんの発達や興味・関心に合わせた遊びや活動を行い、各御家庭で安心して温かい親子関係が築けるように、支援しています。

保護者の方から寄せられる相談の内容としては、難聴や補聴器について、聞こえやことばについて、コミュニケーションについてなどがあります。聴覚障害のお子さん（聴覚障害の可能性のあるお子さんも）に関わる様々な心配ごとに対応しています。また、必要に応じて、お子さんが在籍している保育園・幼稚園や関係機関とも連携して、聴覚障害のお子さんが健やかに成長するための環境づくりのお手伝いをしています。

乳幼児教育相談の取り組み

0歳児グループ活動



おもだちと



音遊び

保護者向け手話講座



1歳児グループ活動



名前呼び



リズム遊び

聴力測定



2歳児グループ活動



絵本と
工作で遊ぶ



調理「おせんべい」

個別相談



【スクールバスについて】

東京都立特別支援学校では、幼児・児童・生徒の登下校に必要なスクールバスを運行しています。

本校では、聴覚障害教育部門・知的障害教育部門で10台のスクールバスが運行しています。



聴覚障害教育部門：中型バス1台。JR 国立駅～学校の運行。

知的障害教育部門：大型バス1台、中型バス2台、小型バス6台。

学区内の幹線道路を基本としたターミナル方式で運行。

【医療的ケア専用通学車両について】

東京都立特別支援学校では、医療的ケアが必要であるためスクールバスに乗車できない幼児・児童・生徒に対して、学習機会の拡充を目的として、児童等の安全を第一としながら、看護師を同乗させた専用通学車両を運行しています。本校では、ワゴンタイプの車両1台が運行しています。

【安全な登下校に向けた取り組み】

スクールバスは、原則5年契約で民間のバス会社に運行を委託しています。乗務員は運転手、添乗員の1名ずつです。（大型バスのみ添乗員が2名です。）

乗務員と学校がスクールバスのよりよい運行について話し合う場として、スクールバス連絡会を年3回開催しています。また、日常の情報交換として運行日誌のやり取りをしています。

その他、本校ではスクールバスの乗降を管理するため、スクールバス乗降管理システムを先行して導入しています。

（現在、東京都内で6校が導入。）

右の写真のような二次元コードタグをカバンにつけ、スクールバス乗降時にリーダーで読み取ることで、幼児・児童・生徒の乗降を管理し、乗降忘れを防止しています。

